

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 5年 11月 9日

事業所名:放課後等デイサービス サガセル

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は 改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	1	3		当日の利用児童数によって活動の進行方法の変更や、人員の配置を MTで決めています。危険個所にクッションを取り付けるなど怪我・事故 の防止に努めております。
	②	職員の配置数は適切である	3	1		国の人員配置基準に加え、加算要件を満たす人員配置を行っておりま す。保育士、作業療法士など児童、福祉分野での経験と専門性を備え たスタッフ配置に努めております。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている		2	2	現時点でスロープや手すりなどは設置しておりませんが、必要に応じて 設置を検討していきます。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画 している	3	1		プログラムの目標設定と振り返り、改善・修正・変更を不定期に職員MT で行い、広く職員が参画しています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている	3		1	事業所評価アンケート調査を行い、結果を公表するとともに、職員間で も結果を共有し、業務改善につなげていきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	1		1	放課後等デイサービス サガセルのホームページ上に結果を掲載しま す。保護者の皆様からご要望があれば紙面でのお渡しも実施します。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	1		1	現在は保護者の方の評価と社内評価のみですが、今後必要に応じて外 部評価の実施を検討します。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	3	1		年間計画を立て、内外部の研修参加をしております。
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	4			利用開始時のアセスメントシートのほか、面談や連絡帳でのやり取り、 お子さまの日々の様子からニーズをくみとり、個別支援計画を作成して おります。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	2	1	1	季節に合わせた活動を取り入れたり、休日や長期休暇は平日できない 活動を行うなど内容を工夫しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	2		
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	4			MTにて複数の職員が様々な視点で児童の行動や心理面を捉え、支援 の仕方や活動の進め方等の検討をしております。活動内容は発達や児 童の状況に応じて、繰り返し行っていることがありますが、楽しみなが ら続けていけるよう工夫をして行っております。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	2	2		
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせ放課後等デイサービス 計画を作成している	4			集団で行う主活動を設定しておりますが、並行して個別療育計画書をも とに個別療育も行っております。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の内容や役割分担に ついて確認している	4			
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	2	2		支援前のMTで活動内容の打ち合わせを行い、支援内容や分担の確認 を行っております。複数の視点から支援について意見交換をし、次の支 援につながるよう記録をとっています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は 改善目標
関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判断 している	3	1		6か月に1度、計画の見直しを行うための職員MTを行い、内容の更新を しています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っている	4			ガイドラインに基づき「自立支援」「創作活動」等の視点で活動プログラ ムを立てております。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	2	2		開催される場合には、児童発達支援管理責任者や作業療法士など適 任者を選んで出席します。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、 連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っている	4			保護者を通して情報共有をさせていただいております。また、直接学校 に乗り入れさせていただく場合は、他事業所とも連携を図りながら情報 共有、連絡調整を行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	1	1	ご利用に際し、医師からの指示書等により、緊急時の対応について確 認をとらせていただきます。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等との 間で情報共有と相互理解に努めている	2		2	相談支援員や早期児童発達支援事業所等との間で連絡を取り合い情 報共有と相互理解に努めています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所 から障害福祉サービス事業所等へ移行する 場合、それまでの支援内容等の情報を提供 する等している		1	1	現時点で該当者がおりませんが、今後必要に応じて情報提供等をさせ ていただき、連携を深めていきます。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	1	1	2	研修実績はありません。今後連携を取り合う中で機会があれば研修参 加等を検討します。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 害のない子どもと活動する機会がある		1	3	交流のみを目的とした活動は行っておりません。今後は地域交流の場 を設け、地域に根ざした活動を行って行きたいと考えております。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に 参加している	1	1	2	要請があれば参加させていただきます。
保	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理 解を持っている	4			必要に応じて個別の相談の時間も設けています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている	2	1	1	保護者に対するペアレント・トレーニング等の実績はありません。今後検 討していきます。
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	4			契約時に説明をさせていただいております。また、不明点があれば随 時、職員が説明をするようにしています。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	3	1		定期的なモニタリングで相談の時間を設けています。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を支 援している	1	2	1	保護者会等の活動実績はありませんが、保護者の方向士の連携が図 れるような内容を検討し、今後計画してまいります。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は 改善目標
護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	2	1		相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応できるよう務めさせていただきます。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	1		必要に応じて連絡事項等の情報を一斉連絡システム(アプリ)にて発信しています。活動中の写真について見られる機会があると良いというご意見をいただきましたので、今後検討していきます。
	③⑤	個人情報に十分注意している	3	1		個人情報に記載された書類は鍵付きの書庫に保管しています。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			その日に取り組む課題や、スケジュール等を視覚的に分かりやすく掲示するなど。伝わる方法をお子さまに合わせて行っています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			4	地域住民招待などの実績はまだないが、今後検討していきます。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4			マニュアルについてMTや委員会にて対応方法等の確認をしております。また、契約時にマニュアルの説明を行っておりますが、周知・訓練について日々改善に努めてまいります。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4			活動時間中の避難訓練を実施しました。今後も定期的な訓練を継続します。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	1		事業所内研修を行っております。身体拘束に関しては、利用者本人の生命や身体を保護するため緊急を要する場合に、切迫性・非代替性・一時性があることを条件に行うことを職員の共通認識とし、行った場合は記録に残すことにしています。また、保護者にはそれらを誓約書に記載し説明しています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1		3	保護者記入のサポートブックにより把握しています。また、必要に応じて聞き取りを行っています。児童の健康上の配慮点や注意点について、職員全員が意識できるよう定期的な確認と周知を行っていきます。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3		1	危険な事例があった場合、特定の報告書に記載しMTにて事実確認と共有、今後の対策を協議しています。

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。